

2022年8月1日
発行/日本共産党市議団地域版
自宅/市川市須和田2-12-3
fax 047-705-6018
携帯 090-6310-3294
メールアドレス
shimizu@jcp-ichikawa.com
ブログ・清水みな子を検索



日本共産党市川市議会議員

清水みな子

あおぞらメール

No.146

6月議会 代表質問で問う 市民感情から離れない市政を

6月10日に、田中新市長の所信表明がありました。22日に共産党の代表質問を清水が行い、補足を廣田議員が行いました。概要を報告します。

タウンミーティングの開催について

(市長答弁)

「市川でいちかわを語ろう」と題して語り合う14地域の自治会役員を中心に参加していただく。

(要望)

今後は市民の意見も聞くように、開催を。

小学校区防災拠点協議会の規約見直しについて

(答弁)

10年が経過し、市職員が行うこと、協議会に支援してもらう内容を整理した。

(要望)

大地震が前提で協議会が作られたが、気候変動の下で、様々な災害が起こるので、協議会のあり方も考えてほしい。

空き家対策の現状と課題について

(答弁)

把握している空き家は、500から600棟。助言・指導、勧告など行っているが、毎年微増している。今後は、宅建協会とも協力して、空き家の活用など進めていく。

(要望)

千葉県の空き家は38万戸、問題のある空き家は14万戸。空き家バンク登録や、子育て世帯に安く提供したり、他市の取り組みも参考に、一日も早い解消に取り組みを強めてもらいたい。

地域猫の支援について

(答弁)

これまで、市に登録した地域猫活動団体に不妊手術費用の助成金を出していたが、個人の方も助成対象として、補正予算を組んだ。

(要望)

市長の所信表明でも「地域の理解のもとに動

物との共生社会を作り出す」とあるので、広報活動やボランティア活動をサポートしてほしい。



児童虐待の現状と課題について

(答弁)

令和3年度、新たな相談件数は、1118件。保育園・幼稚園、学校などからの通報により、家庭訪問や面接を行い、子どもの安全確認をする。緊急性が高い場合は、児童相談所や警察と協力を

る。対応する職員体制は20人である。

(要望)

20人で足りているとは思いません。夜間や休日に対応せざるを得ない場合もある。A1判定に頼るのではなく、専門職の増員を要望します。

生理の貧困対策

(答弁)

昨年度は保健室で手渡しが大半だったが、トイレの個室や洗面台付近に置く学校も増えている。周知方法も幅広くなっている。

(要望)

学校だけでなく、公共施設にも無償配布を。

★市内の降ひょう被害について

6月3日に、総武線沿線を中心に、雹(ひょう)が降り、農作物、屋根や

ひさし、窓ガラスの破損、車両のへこみ、街路灯などの落下、道路冠水などがありました。一般家庭への被害に対しては、罹災証明書を発行しています。特に、梨の被害も深

刻で、千葉県にも対策を申し入れましたが、何の対策も取らないことがわかりました。

市はJAと協力して、市内の被害状況を調査し、180軒の農家に対して、5万円の見舞金を出すことになり、予算が組まれました。



昨年8月定例記者で、村越前市長が、越川議員の実名を上げて、「職員にパワハラを行い、それが原因で退職や休職に追い込まれた職員が複数いる」と発言しました。

いました。

市の答弁では、4月のパワハラに特化した調査の際に、理事者側から、「越川議員と職員との間における答弁調整等のやりとりや出来事のみをパワハラとして申告するよう」に求め、それを裏付ける客観的な証拠はありませんでした。「十分な証拠に基づかないで公表したのは不適切だった」と、副市長、総務部長が、陳謝しました。

鈴木マサ議員に対して、2度目の辞職勧告決議が全会一致で可決

鈴木議員は、4月に党派「自由民主党」所属議員であるかのように守衛を欺き、同会派控室の鍵を不正に入手し、警備員をして開錠させ、室内を無許可で撮影をした事実が明らかになりました。

6月議会と、7月臨時議会で辞職勧告決議があげられ、全会一致で可決しました。鈴木議員は居座り続け、ツイッターで、議長や共産党に対して、口汚く罵っています。

市川市 副市長や総務部長が陳謝 「十分な証拠もなく、パワハラを公表した」

コロナ感染「第7波」を抑えるための緊急要請

市川市で、コロナ感染が急拡大しているなかで、党市議団と市川浦安地区委員会が、7月29日、田中市長に、「新型コロナウイルス感染第7波を抑えるための緊急要請」を行いました。



なっているということになります。

【緊急要請】

- ① これまでの教訓をいかり、急拡大を最小限に抑えるための対応・対策を市民に直ちに示すこと
- ② 濃厚接触者を追わない県の対応に、保育現場は混乱している。これまでのような対策の手立てを取ること
- ③ 無症状者へ徹底したPCR検査を進めること
- ④ 飲食店、観光業者及び関連業者への十分な補償を準備しておくこと
- ⑤ 8月2日から予定しているワクチン接種会場を市民に周知すること。受けられる人数を拡大すること
- ⑥ 市で行えないものは、県や国に要望すること

無料法律相談

◎8月9日(火)
担当 白井幸男弁護士
◎9月13日(火)
担当 岩橋進吾弁護士
午後2時から5時まで
相談時間はひとり30分。
予約は清水又は控室まで

《主な活動報告 7月》

☆7月23日～25日 松本市で自治体学校

第64回自治体学校が3年ぶりに、松本市で開催されました。1日目は、3本の記念講演。地方からの取り組み4本の報告がありました。印象に残ったのは、浜松市民病院の看護師さん、名古屋市の保健所職員のコロナ禍でのリアルな報告。吹田市役所で、市民課の窓口業務の民営化を阻止したたかひの報告は、私たちの運動にも役に立つと思いました。2日目は分科会。私は、「公務労働とデジタル化」に参加。政府がデジタル庁を設置し、マイナンバーやDXを押し付け、人員削減を狙っていることなど学習。



☆7月27日 市川駅で平和行進

8月6日、9日がやっけてきます。今年の原水爆禁止世界大会は、広島で開かれます。市川市では、昨年に続き、市川駅でのスタンディングアピールになりました。松戸市から引継ぎ、江戸川区へ繋ぐ役割があります。各団体からのメッセージで、共産党を代表して、私が訴えました。



☆7月29日 千葉県自治体問題研究所総会

県自治体問題研究所の理事になり、総会に参加しました。特別報告は、千葉県内と千葉市のデジタル化の取り組み状況です。市川市の取り組みも報告しました。予算決算、役員を承認しました。